

開会の挨拶

札幌学院大学社会情報学部学部長 皆川 雅章

第16回社会と情報に関するシンポジウムにご参加いただきありがとうございます。当学部は、開設時から毎年「社会と情報に関するシンポジウム」を社会学、情報学、隣接分野から一線の講師を招いて開催し、幅広く学際的なテーマで議論を行い、その記録を社会情報学部の紀要「社会情報」に掲載し、成果を公表してきています。今年で16回目の開催となりました。これまで、我々をとりまく環境の変化に合わせてテーマを設定してまいりました。今回のテーマは「Web 2.1次世代ネットサービスを検証する」です。Googleに関する最近の話題をはじめ、Webサービスの様々な展開とそれに対する関心の高まりなどから、タイムリーなテーマ設定になっているかと思えます。

このテーマ設定と当学部との関わりで言えば、本学部の理念は「社会情報学の形成に対し貢献すること、現代情報社会を担う人材を養成すること」です。そして、人材育成に関わる教育目標は、現代社会において生起する様々な問題を解決するために、「ネットワーク」と「コミュニケーション」をキーワードとして、社会の情報現象の特質を的確に把握

し、望ましい社会の実現に向けて情報技術を用いることができる素養を持った人材を育成することである。学生達はすでに様々な形でネットワーク社会との関わりを持っており、自然な形でWebの世界に入り込んで行く下地を持ち、新たなものを創造していく可能性を大きく秘めていると思います。その意味でも、このシンポジウムのテーマは、当学部がこのような理念の実現、教育目標達成のための研究を遂行して行く上で、重要なテーマとして位置づけることが出来ると考えます。

今回、この分野の第一線で活躍されている講師の先生方をお招きすることができました。アイオイクス株式会社から滝日伴則先生、株式会社はてなから水野貴明先生、作新学院大学から藤本一男先生に、ご多忙な中、しかも休日にもかかわらず北海道まで来ていただきました。心より感謝申し上げます。

今日から明日の午前中まで、講師の先生方のご講演をもとに、会場の皆様と活発で有意義な議論を展開していただけたらと思います。それでは宜しく申し上げます。